

# 進路だより

平成27年7月17日  
大阪府立守口支援学校  
進路指導部 発行第1号

## ☆高等部実習～ 校内実習・体験実習・現場実習☆ 6月8日から2週間

### 校内実習 お疲れ様！！

高等部は6月8日（月）から2週間、木工・窯業・紙工・縫製・S4の5種目に分かれて校内実習を行いました。木工班は文箱、写真立て、ペン立て、パソコンラック、窯業班はペーパーウェイト、マグネット、箸置き、大皿、木の葉皿を作りました。紙工班は和紙シール、ポチ袋、一筆箋、メモ帳など、縫製班はスウェーデン刺繍の小物入れ、ドレスタオル、ブックカバー、台ふきん、さわりのポーチと、みんなで分担し、協力して製品作りを行いました。S4班はそれぞれの名前のはいったステンドグラスや空き缶グラグラタワーを作りました。

校内実習の最終日は即売会、どのお店にも一生懸命作られた製品がずらりと並びました。S4の生徒達の取り組みの様子はテレビで映され、2週間の頑張りを観ていただくことができました。そして午前11時、鐘の合図とともに即売開始！たくさんの保護者の方々がお越し下さって完売するお店もあり、大賑わいの即売会となりました。

午後の反省会では各種目ごとにジュースでお疲れ様の乾杯！！ひとりひとりが自分の目標に向かって頑張った充実した2週間となりました。

保護者の皆様、即売会ではたくさんの製品のお買い上げありがとうございました。

### 体験実習

校内実習が行われている間、Bコースの2年生4名は、体験実習としてエルアイ武田やエスアールジャパン株式会社など4社に実習に出ました。2年生にとっては、初めて体験する2週間の実習。緊張しながらの実習となりましたが、無事に最後までやりとげることができました。毎日働くことの大変さや仕事の厳しさ、職場の人の優しさにふれる貴重な体験となりました。

### 現場実習

高等部3年生Bコース5名は卒業後の雇用を視野に入れた現場実習に取り組みました。これまでの学習としての体験実習とは異なり、就職試験のような意味合いの現場実習に、将来の「働く自分」をイメージしながら真剣な表情で各生徒が実習先に足を運んでいました。現場で一所懸命、挨拶や仕事をする生徒達の姿を見てると巡回指導の我々教員も緊張感が高まります。あらためて働くことの厳しさややりがいを感じることでできた実習となりました。



## ☆PTA施設見学会☆

6月から7月にかけて守口・門真市の福祉の事業所を中心に見学会を実施しました。昨年度から、校区内の施設にも新しい動きがありましたので、新規事業所への見学も実施しました。日数にすると8日間で11ヶ所の事業所の見学を設定しました。

梅雨の季節ということもあり、季節感を十分に感じる事が出来る天候の時もありましたが、たくさんの保護者の方々が参加されました。

見学会の多くは①まず事業所の概要を説明していただき②ひと通り見学し③質問の時間を設けていただく…という流れです。例年高等部の保護者が中心の見学会ですが、今年は各学部から多くの参加があり、毎回約10名前後の方が見学されました。

守口市の「ういず守口」は、就労移行支援・就労継続支援B型・生活介護の多機能型の事業所です。就労移行支援では、軽作業や施設外での作業に取り組まれています。隣の就労継続支援B型では、主に菓子製造や喫茶スペースでの接客を通して就労に向けた取り組みをされています。また、生活介護では、金具をパッケージに詰める作業を5,6人の幾つかのグループに分かれて作業をされていました。全体で取り組まれているミュージカルというダンスは人気の活動だそうです。

「桜の園」（生活介護・就労継続支援B型）は、2年連続の見学会でした。昨年度の新設予定は変更になりましたが、来年度の春には隣の空き地に新設する予定で調整されているそうです。定員は生活介護と就労継続支援B型で各10名程増えるそうです。

オールケア大日（生活介護）は、主に車椅子や重度障がい、医療的ケアの必要な利用者さんが通われています。3階建ての建屋で、1階は生活介護、2階は放課後等デイサービス、3階は重度心身障がい児対象の放課後等デイサービスをされています。午前中はそれぞれのニーズに合わせた活動や入浴をされていて、午後からはレクリエーションなどの活動をされています。支援員さんと利用者さんが明るくコミュニケーションを取られているのが印象的でした。また、誕生日会や大日イオンへのお出かけなど施設外での活動もされています。

ひだまり（就労継続支援B型、生活介護）は、B型では主にしょうゆさしなどのもぎり作業や、ネジの組み立て作業などをされています。時には清掃やチラシの配布に施設外への作業もされているそうです。生活介護では、入浴したり、もぎり作業をしたり、夏の期間ではプールもあるそうです。敷地内の畑で取れた野菜は販売することもあり、売り上げは皆さんの工賃になるので、お水やりは当番をしっかりと決めて取り組まれています。

見学会は毎年6月、7月と秋に実施しています。実際に事業所を訪れることで、立地環境やその場の雰囲気を感じる良い機会になると考えています。

次回の秋の見学会には保護者からの希望をもとに見学会を実施する予定です。





～見学の感想～

- ・個別に対応しなければならない事、場面などにもできるだけ対応されているところが良かったです。事業所さんの長い歴史から得た経験が活かされているのだと思います。
  - ・放課後等デイサービスでお世話になっているのでおおまかな雰囲気はつかんでいましたが、1Fの生活介護スペースは外からチラッと見ただけでしたので、今日はいい機会に恵まれました。スタッフの前向きな姿勢がひしひしと伝わってきて、明るいムードに好感。ただ、もう少しスペースが広ければなあ、と残念に思いました。
- どこもスペース確保は難しいのだ、と改めて感じました。これからできるだけいろいろな所を見学していきたいと思います。ありがとうございました。

## ☆中学部進路学習☆

### 寝屋川支援学校見学

6月9日(火)に、中学部3年生で寝屋川支援学校高等部の授業見学へ行ってきました。運動場や校舎の広さに驚きながら、高等部の授業で使う教室を中心に見学しました。園芸、窯業、縫製など授業に取り組む先輩の姿を見て、刺激を受けた生徒もたくさんいました。

### 中学部3年 福祉事業所見学

6月26日(金)「生活」の時間を使って、門真市にある「グレース工房」「ジェイ・エス ステージ」へ事業所見学に行ってきました。

「グレース工房」では、唐辛子の計量、袋詰めした唐辛子を台紙に貼る作業、箱作りの作業などを体験しました。真剣に説明を聞き、集中して作業を体験しました。「ていねいにできてます。」と施設の方にはほめていただき、恥ずかしそうにしながらも喜んでいる姿が見られました。また、ここで作った製品がスーパーなどで売られていることも学び、「仕事」をイメージすることができました。

「ジェイ・エス ステージ」では、施設内の様子を見学し、2階の作業場ではバリ取りの作業を見学しました。机の前に並んで、実際にバリ取りの作業を体験する場面では、真剣な顔つきで集中して作業しました。

事前学習で練習した挨拶「こんにちは!」「よろしくお願いします。」「ありがとうございました。」もしっかりでき、半日の短い体験でしたが、高等部卒業後の進路のイメージが少し湧いたと思います。

## ☆施設案内冊子の発行☆

6月初旬に、守口、門真市内の日中活動系の福祉事業所をまとめた施設案内冊子27年度版を全校配布しました。新規に追加した掲載事業所は、守口市は、ステラ守口(A型)、スプラウト(B型)、アルジス(就労移行、B型)門真市は、就労支援センター門真(A型)、ライフケア花風(生活介護)、ほにいず(生活訓練、生活介護)です。保護者の方からは「我が子の卒業の時には受け入れをして頂けるのでしょうか。」とよく相談を受けます。ほんとうに、これからの地域福祉施設の動向が気になるところです。今後も日々の地域連携の中で正確かつ迅速な情報提供に努めたいと思っています。保護者の皆様も、この冊子を有効活用下さい。



## ☆同窓会☆

5月10日(日)に第19回同窓会定例総会が体育館で行われました。年々卒業生の輪が広がっていく中、平成7年度卒業の方をはじめ同窓生は89名、保護者、教員を加え100名以上の人々が集まりました。総会では昨年度の卒業生の紹介があり、暖かい拍手で同窓会に迎えられました。今年度は同窓会役員改選の年になっており、新たな役員(会長1名、副会長2名、会計1名)が選出されました。

総会終了後はおなじみのレクリエーションがありました。ジュースやお茶を飲んだりお菓子を食べたりしながらおしゃべりに興じる人、バスケットボールで懐かしい友と汗を流す人、得意のカラオケを熱唱する人、新聞紙相撲で白熱した試合を繰り広げる人など、楽しい時間はあっという間に過ぎました。最後に全員で記念写真を撮影し、再会を約束しての解散となりました。次回の同窓会は11月8日(日)に実施を予定しています。



## ☆高等部3年生福祉懇談会☆

5月26日(火)に高3福祉懇談会を開催しました。高3保護者の方と地域関係機関(大阪府障がい者自立相談支援センター、守口市障害福祉課、守口市障害者基幹相談支援センターなど)が顔を合わせ、来春卒業後の進路実現に向け、情報交換を行いました。昨年度より、障がい福祉サービス利用にあたっては事前に利用計画案、いわゆる「計画相談支援」が必要になっています。その対応も視野に入れ、守口市内のすべての相談支援事業所(10軒)にも出席頂きました。多忙な業務を抱えておられる中、午後の学校担当者との情報交換会まで快く時間を割いて頂き、大変有り難いことであると感謝しております。生徒によっては、すでに現時点で障がい児福祉サービス利用で計画相談担当者と繋がっており、今後の進路の方向性についてもアドバイスを頂いているケースも出てきています。今後は在学中、早い段階からの相談支援担当者と担任、進路担当との連携がより大切になってくると実感しております。このような新しい取り組みが個々の生徒のよりよい社会参加に結びつくように、更に地域連携に力を入れていきたいと考えています。

## ☆もりもりギフト☆

ご協力ありがとうございました。活動での収益は、利用者の工賃とボーナスに還元されます。冬にも販売があります。よろしくお願いします。



午前：保護者との懇談会



午後：学校担当者との懇談会